

ほんごう



札幌市立本郷小学校
学校だより
令和8年 3月25日
特別号

学校 HP

帰宅時刻(11~3月)→16:30

次年度の教育活動について

本校では、次年度に向けた教育活動の計画を進めています。12月にご回答いただいた保護者アンケートの結果や各種調査のデータを基に検討を行い、現時点での概要をまとめましたのでお知らせします。

<年間行事予定>

保護者アンケートのQ11~Q21の回答結果を見ると、令和6年度と比較して、すべての項目で肯定的な回答が増加しています。その結果も踏まえ、**令和8年度は令和7年度の行事内容と実施時期を基本的に継続する方向**で進めていく予定です。

なお、一部変更点がありますので、下記の通りお知らせします。詳細については、時期が近くなりましたら改めてお知らせいたします。

変更点1

4月8日(水)から6月15日(月)までの期間は、**火曜日のみ2年生を5時間日課**とします。

変更点2

イチイ活動は、**2つの学年をペアにした縦割り活動**として実施します。

・1年生 — 6年生 ・2年生 — 4年生 ・3年生 — 5年生

それぞれのペアで、上の学年が活動をリードする内容を現在検討しています。

変更点3

今年度末に購入したパカポコとジャベリングボールを活用し、得意・不得意に関わらず、**どの子どもも体を動かして楽しく遊べる環境づくり**を進めていきます。

<その他>

- ・体育発表会と音楽発表会は、開催日は年間行事予定の通りですが、開催時間や実施内容については、ある程度柔軟に対応できるよう現在校内で検討しています。
- ・豊かな学びにつなげるため、**体験活動の機会を積極的に取り入れていく**予定です。
- ・より多くの子どもが本と触れ合えるよう、**今年度と同様に図書室を休み時間に全学年へ開放**し、その利用について周知を徹底していきます。
- ・**インクルーシブ教育の観点**から、特定の子もだけでなく、**すべての子どもが「できた」「わかった」といった達成感を感じられるような学習活動や行事内容**を推奨していきます。
- ・**スタートカリキュラム**では、小学校や新しい環境に不安を感じる子どものために、朝の多目的室を活用した交流の時間を設けています。また、「1年生になったから勉強をがんばるぞ」という子どもの意欲を大切に、教室で席に座って落ち着いて過ごす時間とのバランスを見直していきます。
- ・併せて、学級における様々な**リスクを軽減**するため、**1年生は5月の学級編成まで仮編製の学級でスタート**します。

<12月の保護者アンケートの結果>

令和7年度教育活動に関する保護者アンケート(年度末評価)				
質問項目	そう思う	だいたい そう思う	あまり 思わない	思わない
Q1.お子さんは、楽しく学校に通っていますか。	64%	32%	3%	2%
Q2.お子さんは、相手の気持ちを考え、言葉遣いに気を付けながら生活していますか。	32%	58%	8%	1%
Q3.お子さんは、明るいあいさつを自分から進んでできていますか。	32%	51%	13%	4%
Q4.お子さんは、進んで本を読んでいますか。	20%	20%	37%	23%
Q5.お子さんは、友達と仲良く過ごしていますか。	57%	39%	4%	1%
Q6.お子さんは、目標や疑問をもって家庭での学習に取り組んでいますか。	20%	46%	27%	7%
Q7.お子さんは、目標や疑問をもって学校での学習に取り組んでいますか。	19%	54%	20%	6%
Q8.お子さんは、「～したい。」という思いをもって学習や生活に取り組もうとしていますか。	23%	50%	24%	3%
Q9.お子さんは、友達と元気に遊んだり、進んで体を動かしたりしていますか。	59%	30%	9%	1%
Q10.お子さんは、4月に学校で考えた健康の目標を大切に、毎日を過ごしていますか。	20%	53%	22%	6%

※昨年度と質問内容が変更している部分がありますので、今年度の結果のみお知らせいたします。

令和7年度教育活動に関する保護者アンケート(年度末評価)		
質問項目	R6	R7
Q11.ここからは、学校の取組についてのご意見をお聞かせください。長期休業明けの漢字チャレンジテストの取組を通して、漢字の定着を図ったり、学ぶ意欲を高めたりするように努めています。	89%	98%
Q12.教科担任制、専科指導等を通して、専門性を生かした質の高い授業を展開するとともに、複数の教員で子どもを指導することで学習の定着を図ります。	87%	93%
Q13.UDL(学びのユニバーサルデザイン)を授業で取り入れ、子どもが自分に合った学習方法を選択しながら取り組むことができるようにしています。	62%	83%
Q14.互いのよさを認め合う経験を積むことで、思いやりを行動に表す子どもを育てていきます。	77%	94%
Q15.朝読書や図書司書さんによる読書指導、全校一斉読み聞かせなどを通して、子どもが本に親しむ機会を積極的に設けています。	83%	95%
Q16.異年齢交流(イチイ活動)を通して、高学年を中心に、互いのよさを認め合う経験を積むことで、思いやりを行動に表す子どもを育てていきます。	83%	92%
Q17.なやみやじめに関するアンケートやSOSシート等のアンケートを実施し、子どもの学校生活への思いを把握することで、いじめの防止、早期発見、組織的な対処ができるようにしています。	82%	92%
Q18.マット運動週間や跳び箱運動週間等を通して、子どもが運動に親しむ機会を積極的に設定しています。	85%	95%
Q19.ランチルーム給食やリザーブ給食、栄養教諭による食指導を通して、「食」に関する知識や、バランスのよい「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育てています。	90%	96%
Q20.個人懇談や三者懇談を実施したり、日常学習の充実を重視して行事を企画・運営したりすることを通して、家庭と学校が子どもの育ちを共有する関係づくりに努めています。	85%	96%
Q21.学校ホームページや学校だより等を通して、小中一貫した教育への取組や子どもたちの教育活動の姿をお知らせするよう努めています。	84%	94%

※こちらは肯定的な回答(そう思う、だいたいそう思う)の合計を昨年度と比較したのとなります。

記述でご回答いただいた内容につきましても、次年度の学校運営の参考とさせていただきます。